

# 村×木材×大学

ものづくりを起点に豊かな若人を育む

## 川上村 木匠塾20



## 川上村木匠塾 20周年記念 フォーラム

2017  
**9月17日** 日



会場：川上総合センターやまぶきホール  
(〒639-3553 奈良県吉野郡川上村道590-1)

定員：340名  
参加費：無料  
申込み：事前申し込み不要

記念展示「川上村木匠塾20年の歩み」  
2017  
**9月9日** 土 ~ **9月24日** 日  
会場：川上総合センターやまぶきホール  
エントランス  
時間：9:00~17:00

### プログラム

11:30~ 開場

12:30~ 開会挨拶  
歓迎挨拶

寺地 洋之 川上村木匠塾塾長 / 大阪工業大学建築学科教授  
栗山 忠昭 川上村村長

12:50~  
基調報告

### 「2017年度の活動内容を中心に近年の川上村木匠塾について」

綱場 郁・立花 亮帆 2017年度川上村木匠塾学生代表幹事・副代表幹事 / 大阪芸術大学3回生・奈良女子大学3回生  
佐々木 一泰 川上村木匠塾指導教員 / 滋賀県立大学生活デザイン学科講師

13:10~  
シンポジウム①

### 「林業の村で大学生が育む可能性」



戸田 都生男 ものづくり大学建設学科准教授 博士(学術) / 1999年度川上村木匠塾学生代表幹事  
大阪芸術大学3回生の時、1998年第1回川上村木匠塾参加、1999年同学生代表幹事、卒業後2001年~2013年迄、木匠塾事務局代表、Ms建築設計事務所、京都造形芸術大学環境デザイン学科副手、麻生建築&デザイン専門学校講師などを経て現職。2015年「森林環境教育の視点からみた環境配慮的な意識・行動の実態に関する研究-木を使ったものづくり活動と住宅設計演習が建築・住居系学生に与える影響-」で京都府立大学大学院より博士学位授与。受賞に2015年第1回ウッドデザイン賞「ソーシャルデザイン部門」入賞、2016年日本建築学会関東支部第18回提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」入賞など。



西村 仁志 広島修道大学人間環境学部教授 博士(ソーシャル・イノベーション)  
京都YMCA勤務のち、1993年京都にて「環境共育事務所カラース」を開業。環境教育の専門事務所として、自治体や企業、NPO等の環境学習・市民参加まちづくりのコーディネートや研修会の企画運営、エコツアーなどを行ってきた。2006-2011年、同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授を務め、2012年より広島修道大学に着任。著書に「ソーシャル・イノベーションとしての自然学校：成立と発展のダイナミズム」(みくに出版)、「ソーシャル・イノベーションが拓く世界：身近な社会問題解決のためのトピックス30」(法律文化社)など。



三澤 文子 Ms建築設計事務所所長 / 岐阜県立森林文化アカデミー客員教授  
(株)現代計画研究所を経て1985年三澤康彦と共に大阪にてMs建築設計事務所設立。林産地と都市の住まい手とを結ぶ活動を木造住宅設計に取り込み、数多くの「木の家」を設計する。1995年、木構造住宅研究所(後にMSDに改名)を共同設立し、1996年よりMOKスクールを開催し現在も継続中。2001年~2009年岐阜県立森林文化アカデミー教授、その後客員教授。2011年~2014年京都造形芸術大学通信大学院教授。現在MSD主宰。作品にケナル山荘、白水湖畔ロッジ、日野北の家。著書に「木造住宅の可能性」(INAX出版)。受賞に2007年日本建築学会賞教育賞受賞、2013年日本建築士会連合会賞優秀賞など。

14:20~  
シンポジウム②

### 「林業・木材を起点に儲かるビジネスの育み方」



上田 一仁 川上村役場参与 / 一般社団法人吉野かわかみ社中理事  
1983年、奈良県に林学職として採用。森林土木(治山、林道)業務や森林法の許可業務、造林事業等に従事。2004年より林業政策の企画業務を担当し、奈良県森林環境税の創設や、奈良県森林づくり条例の制定等に携わった。2012年、新設された南部東部振興課に配属され、川上村を担当する地域支援員として、施策の立案や検討、実行に参画。2015年4月より、県から出向し、村の重点施策である林業振興を主に担当し、「吉野かわかみ社中」の設立から運営にも関与している。



水谷 伸吉 一般社団法人 more trees 事務局長 / 株式会社モア・トゥリーズ・デザイン代表取締役  
1978年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部を卒業後、2000年より樹クボタで環境プラント部門に従事。2003年よりインドネシアでの植林団体に移り、熱帯雨林の再生に取り組む。2007年に坂本龍一氏の呼びかけによる森林保全団体「more trees」の立ち上げに伴い、活動に参画し事務局長に就任。森づくりをベースとしながら、全国各地の林業地やクリエイターと連携して国産材プロダクトのプロデュースおよび販路開拓を進めるほか、都内を中心とした木育のイベントも手掛けている。他にカーボンオフセット、グリーンツーリズム、被災地支援、熱帯雨林の再生も手掛ける。



若杉 浩一 パワープレイス(株) / 日本全国スギダラケ倶楽部設立者 / 東京芸術大学美術学部非常勤講師  
1959年熊本県天草郡生まれ。1984年九州芸術工科大学芸術工学部工業設計学科卒業。同年株式会社内田洋行入社、デザイン、製品企画、知的生産性研究所テクニカルデザインセンターを経て内田洋行のデザイン会社、パワープレイス株式会社にてレーションデザインセンターを設立し、現在、シニアディレクター。企業やジャンルの枠にこだわらない活動を行い、企業と個人、社会の接点を模索している。スチール家具メーカーなのに何故か、日本全国スギダラケ倶楽部を南雲勝志氏と設立。受賞にドイツIF賞、DESIGNPLUS特別賞、2007年度まちづくり大賞(スギダラケ倶楽部)など。

15:25~ 閉会挨拶

田口 雅一 川上村木匠塾指導教員 / 大阪芸術大学建築学科教授